

〔事業所向け〕 児童発達支援 自己評価表

事業所名：【 音の森あさひかわ 】

実施日：2025年3月7日

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか（基準は児童10人に対し職員3名）	○			
	③	療育空間は本児にわかりやすい 構造化 ※された環境になっているか。また、障がい特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	○			
	④	事業所内は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の療育活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	⑤	業務改善を進めるための計画⇒実行⇒評価⇒改善（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、保護者等の意向を把握し業務改善につなげているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、行っていく予定です。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑫	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容の中から 保護者のニーズ や子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑮	活動プログラムが話し合いのもとで計画的に進められているか	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しているか	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			

(注釈) ※「構造化された環境」とは、この部屋で何をするのか示せるように、タイルカーペットの色をわけてたり棚の配置場所などお子さまの本人にわかりやすくすることです。

※「ペアレント・トレーニング」とは、保護者さまがお子さまの行動を観察して障がい特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、お子さまが適切な行動を獲得することを目標とします。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が担当
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当 <input checked="" type="radio"/> 非該当
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当 <input checked="" type="radio"/> 非該当
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	26	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	27	移行支援として小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を求められている場合、対応できているか	○		インクルージョンの機会を設けていよう対応していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者様のニーズに合わせて対応
保護者への説明責任等	32	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	33	「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び保護者のニーズが反映された支援内容に基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者からの同意を得ているか	○		
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会や茶話会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		10月に茶話会を開催致しました
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		通信の発行(隔月発行)
	38	個人情報に十分注意しているか	○		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	○		
	40	事業所の行事(ワークショップ等)に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		今年度は実施しておりませんが、次年度は行事(ワークショップ等)開催を予定しております。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		6月・9月と年2回(地震・火災/水害)
43		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		
44		食物アレルギーのある子どもについて、保護者の要望に応じて医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか	○		委員会の設置・研修の実施
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	○		該当 <input checked="" type="radio"/> 非該当

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

事業所名: 児童発達支援 音の森あさひかわ

対象人数(保護者)48人 回答者数 35人 回収 72.9%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	1			基準値以上の十分な活動スペースがございます。施設見学会も実施しておりますのでお気軽にお越しください。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	2			保育士、児童指導員、専門職員を常勤換算4名以上を常時配置させて頂いております。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	2		難しいとは思いますが、子供が使いやすいトイレにしてもらえたらと感じます。	小便器と洋式トイレを設置しておりますがいずれも小児用ではない為、補助便座等で対応致しております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35				
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35			子供の障害のことや性格を的確に把握してくれており、発語がない知的障害重度の子供が、デイに行く日であることを伝えると喜び、迎車を待つ事が出来、先生を見て笑顔になり、乗車後笑顔で手を振り出発します。これが、先生達が十分に良く関わって下さっている証と思います。	お子様ひとりひとりに寄り添った支援プログラムの実施、その他、専門職員による専門的支援を今後とも提供させて頂きます。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35				
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	35				
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	1			
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35				
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	3			
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	19	7	他の保育園や幼稚園の子(私の同級生などの子)と遊ぶことはあるが結局特定の子になってしまいがち。	要望に応じてインクルージョンの機会を設けていくことを検討致します。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35				
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35				
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	8			
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	35			何かあったらすぐ連絡してしまう方なので連絡は取れてる方だと思います。	よりきめ細かい相談体制作りやHUGやLINEを活用した相談しやすい環境づくりに努めてまいります。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	3		幼稚園などでは病院が終わるたびに報告をしたり面談を繰り返していた。今は病院も減ったので面談の回数も減った。 こどもの特性などは先生方からいつも気づかせていただいています。 子どもとの関わりや特性等で助言をしてもらい、大変助かりました。面談などがもう少し頻度があったら、助かります	定期的(個別支援計画更新時や中間評価時)にお話しさせて頂いておりますがお子さまの成長にあわせてご相談出来ますのでお気軽にお声かけ頂ければと思います。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35				
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	17			今年度も保護者会(茶話会)を開催させていただきました。 今後も様々なニーズ合わせた交流の機会を検討させていただきます。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	3			
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1			
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	33	2			
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35					
非常時等の対応	㉓ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	2			
	㉔ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	6			
	㉕ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	2			
	㉖ 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	1		もちろん信用していますがまだデイスービスでは怪我などをしたことが無いのでこの評価にしました。	事故防止マニュアル策定のうえ、日頃より事故やケガ防止に努めておりますが、万が一事故やケガがあった場合、迅速に処置、連絡対応いたします。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	35			少し疲れていても行かない選択肢は無いみたいなので、もう一つの自分の居場所という感じで安心して通えてるみたいです！ 先生を信頼してたくさん話しかけています。 いつも先生方は優しく対応してくださり、その日にあったことをアプリなどで丁寧に教えてくださり感謝しています。	お子さまに寄り添う支援を心がけております。安心して通って頂ける様、努めてまいります。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	33	2		無い日はショックを少し受けるくらい楽しみみたいです。 毎回楽しみにしています。	祝日や休業日に当たった時は振替利用も相談出来ますのでご検討ください。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	35			支援はもちろんですが子供の体力的にも合っていると思うので、施設を変更してよかったですと思っています！ Zoom見学がありがたかったのですが、座っての活動の時はしばらく先生しか映っていなかったなのでその部分も見られるとより嬉しいです。 音楽以外にも活動がありいろんなことができるようになりました。成長させていただき、先生方いつも本当にありがとうございます。	オンライン見学について対象のお子様さんが映りやすい位置に促す等配慮しておりますが固定カメラ1台の為、ご不便をお掛けしております。療育見学は随時、行っておりますのでお気軽にお申し付けください。

〔事業所向け〕 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：【 音の森あさひかわ 】

実施日：2025年3月7日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか（基準は児童10人に対し職員3名）	○			
	③	療育空間は本児にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障がい特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための計画⇒実行⇒評価⇒改善（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	専門家によるシステム構築準備中
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが話し合いのもとで計画的に進められているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援をおこなっているか	○			

関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が担当	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、 保護者のニーズがあった場合 、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当/非該当
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行時、保護者の要望があった場合それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を求められている場合、対応できているか		○		インクルージョンの機会を設けていこう対応していきます。
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持って	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○			
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会や茶話会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			10月に茶話会を開催しました
	㉓	子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			通信の発行(隔月発行)
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	○			
	㉗	事業所の行事(ワークショップ)に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今年度は実施しておりませんが、次年度は行事(ワークショップ等)開催を予定しております。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種、内部研修等により実施
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			6月・9月と年2回(地震・火災/水害)
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか	○			委員会の設置、研修実施
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				該当/非該当
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、 保護者の要望に応じて 医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 音の森あさひかわ

対象人数(保護者)18人 回答者数 10人 回収 55.6%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1			基準値以上の十分な活動スペースがございます。 施設見学会も実施しておりますのでお気軽にお越しください。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	10				
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10				
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10				
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10				
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	10				
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10				
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10				
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	2			構造化された支援プログラムを実施しております。 プログラム内容は毎月、会議にて協議させて頂いております。
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	4		要望に応じてインクルージョンの機会を設けていくことを検討致します。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10				
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10				
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	1		保護者会(茶話会)等で家族支援プログラムの提供を検討させていただきます。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	10				
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10				
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10				
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	1		今年度も保護者会(茶話会)を開催させていただきました。 今後も様々なニーズ合わせた交流の機会を検討させていただきます。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10				
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10				
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	㉓ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1			各種マニュアルを策定しており、職員全員が周知できる体制を整えております。
	㉔ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1			6月と9月に年2回の災害・防災訓練を実施しています。 実施状況は通信にて周知させて頂いております
	㉕ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1			事故防止マニュアル策定のうえ、日頃より事故やケガ防止に努めてさせて頂いております。
	㉖ 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	2			万が一事故やケガがあった場合、迅速に処置、連絡(相談)対応させて頂いております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	10				
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10				
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	10				